J-PlatPat
特許情報プラットフォーム

オンライン講習会

特許・実用新案　初級編

独立行政法人
工業所有権情報・研修館
知財情報部　情報提供担当

目次

1. 特許について基本的なことを理解しよう！
(1)特許制度の目的
(2)特許出願・審査の流れと公報発行
(3)特許法での「発明」とは
(4)特許権が認められるためには
(5)特許調査の必要性(メリット)

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！
(1)J-PlatPatってなに？
(2)J-PlatPatへのアクセス方法
(3)トップページ
(4)特許・実用新案詳細検索メニュー
(5)J-PlatPatに表示される特許公報情報の構成
(6)経過情報

3. 簡易検索を使ってみよう！
(1)簡易検索とは
(2)簡易検索の特徴(デメリット)

4. 番号照会を使ってみよう！
(1)照会方法

5. キーワード検索を使ってみよう！
(1)検索方法
(2)J-PlatPat検索の基本:AND検索・OR検索
(3)近傍検索を活用しよう
(4)個人名から検索する
(5)法人名から検索する
(6)検索結果を絞り込む

6. 便利な機能を使ってみよう！
(1)検索条件の保存/読込(意匠、商標でも共通)
(2)検索履歴番号を用いた検索
(3)RSS機能(意匠、商標でも共通)

※本テキストに掲載の検索結果件数等はテキスト作成時のものであり、実際の検索結果件数とは相違する場合があります。
※J-PlatPat検索画面等は一部加工している場合があります。

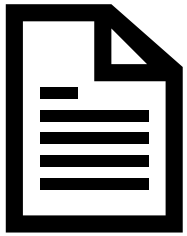
1. 特許について基本的なことを理解しよう！

(1)特許制度の目的

特許法第1条	**発明の保護及び利用を図る**ことにより、**発明を奨励**し、もつて**産業の発達に寄与**することを目的とする。

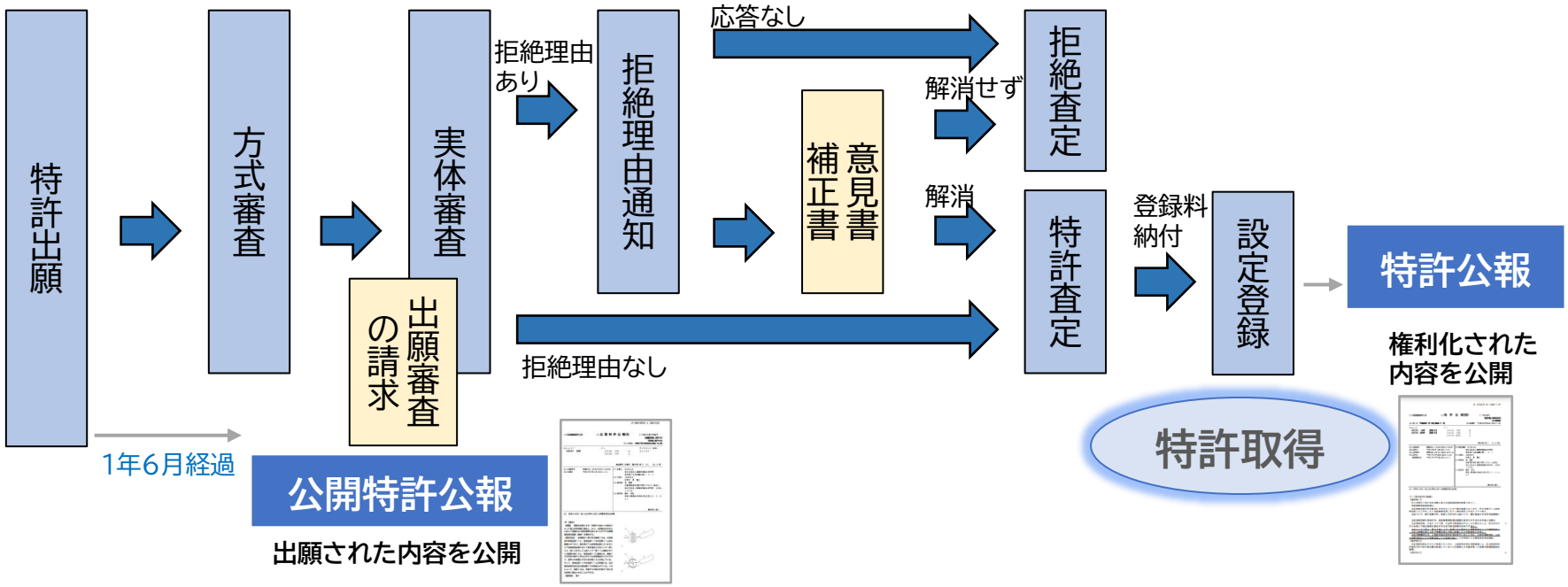
特許制度では、出願人に一定期間、一定条件のもとで特許権という独占権を与えて**発明の保護を図る**一方、その権利を公開することにより、さらに新しい技術の進歩を促進し、もって、**産業の発達に寄与**することを目的としています。

例えば、とある発明を秘密にしていると･･･
発明者自身も発明の有効利用ができないばかりでなく、それを知らない他人が、同一発明に対して無駄な研究開発や事業投資をすることに。



1. 特許について基本的なことを理解しよう！

(2)特許出願・審査の流れと公報発行



公開特許公報

✓ 特許出願から1年6月経過したときに出願内容を一般に公開するもの

特許公報

✓ 設定登録になり、特許権が発生した際に発行

✓ 発明者が発明した内容とその発明の中でどの部分が特許権を得ているか掲載

1. 特許について基本的なことを理解しよう！

(3)特許法での「発明」とは

自然法則を利用 ＋ 技術的思想 ＋ 創作 ＋ 高度

＝

発明

自然法則を利用	×自然法則以外の法則 ×人為的取決め ×自然法則それ自体	経済法則、心理法則など ゲームのルールそれ自体など 万有引力の法則など
技術的思想	×いわゆる技能 ×情報の単なる提示 ×美的創作物	フォークボール等の投げ方など デジタルカメラで撮影した画像データなど 絵画や彫刻
創作	×天然物、自然現象等の単なる発見 〇天然物から人為的に抽出した物質	X線の発見
高度	実用新案法が対象とする「考案」よりも技術水準が高いものを指す 実用新案との区別のための概念であり、高度な技術レベルそのものよりも、進歩性(容易に思いつかないこと)の根拠となる要素を指すのが一般的	

1. 特許について基本的なことを理解しよう！

（4）特許権が認められるためには

特許を取得するためには、特許庁に出願し、審査を受ける必要があります。審査においては、発明の**新規性**及び**進歩性**などの特許要件が審査され、要件を具備していると認められれば特許権が付与されます。

特許権が認められるための主な要件

新規性	進歩性
新しいものでなければならない！	**容易に思いつくものであってはならない！**
・出願前に公然に知られている→× 例：テレビで放映、発表 ・出願前に公然と実施された→× 例：店で販売、製造工程における不特定者見学 ・刊行物又はインターネットに記載されている→×	・たとえ新規でも従来技術を少しだけ改良したもの→×

1. 特許について基本的なことを理解しよう！

（5）特許調査の必要性（メリット）

●動向調査

①研究開発戦略の立案	自社が開発すべきテーマを見つける
②競合・市場分析	競合企業がどんな技術に力を入れているかを調べる

●先行技術調査（新規性・進歩性・権利抵触調査）

①特許出願の前確認	自分のアイデアが特許になりそうか事前に判断
②出願戦略の検討	類似特許がある場合は出願内容を調整
③知財リスクの回避	他社の権利に抵触しないか確認する

【その他の目的】

●明細書・意見書等の参考として

先行技術を調査して
権利侵害のリスクを
回避したい

無駄な出願費用を
削減したい

研究開発の
ヒントを得たい

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(1)J-PlatPatってなに？

無料・会員登録不要！

インターネットを通じて**誰でも手軽に産業財産権情報の検索ができるサービス**として、「J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）」を提供しています。

公報や産業財産権情報を提供！

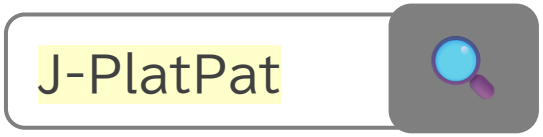
明治以来、特許庁が発行してきた特許・実用新案、意匠、商標に関する**公報**や外国公報に加え、それぞれの出願の審査状況が簡単に確認できる**経過情報**などの産業財産権情報を日々、特許庁と連携して、情報提供を実施しています。

特許庁/J-PlatPatデータベース　　一般ユーザー

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(2)J-PlatPatへのアクセス方法

①検索エンジンから
「J-PlatPat」「JPP　特許」等と検索



②工業所有権情報・研修館
ホームページから
「J-PlatPat」のバナーを
クリック

③特許庁ホームページから
「J-PlatPat」のバナーを
クリック

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(3)トップページ

①ナビゲーションバー

法域別の詳細検索サービスを選択するナビゲーションバー

②特許・実用新案詳細検索メニュー

特許・実用新案詳細検索サービスを選択するメニュー

③検索画面

検索を行う画面でデフォルトでは簡易検索が表示

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(4)特許・実用新案詳細検索メニュー

	特許・実用新案
④	特許・実用新案番号照会／OPD
⑤	特許・実用新案検索
⑥	特許・実用新案分類照会(PMGS)

④特許・実用新案番号照会

調べたい特許・実用新案文献の文献番号がわかっている場合

文献番号(出願番号・公開番号・登録番号等)が分かっている場合、文献番号を指定して照会

⑤特許・実用新案検索

任意のキーワード等から文献を探したい場合

発明・考案の名称、出願人名等のキーワードや、分類を用いて検索

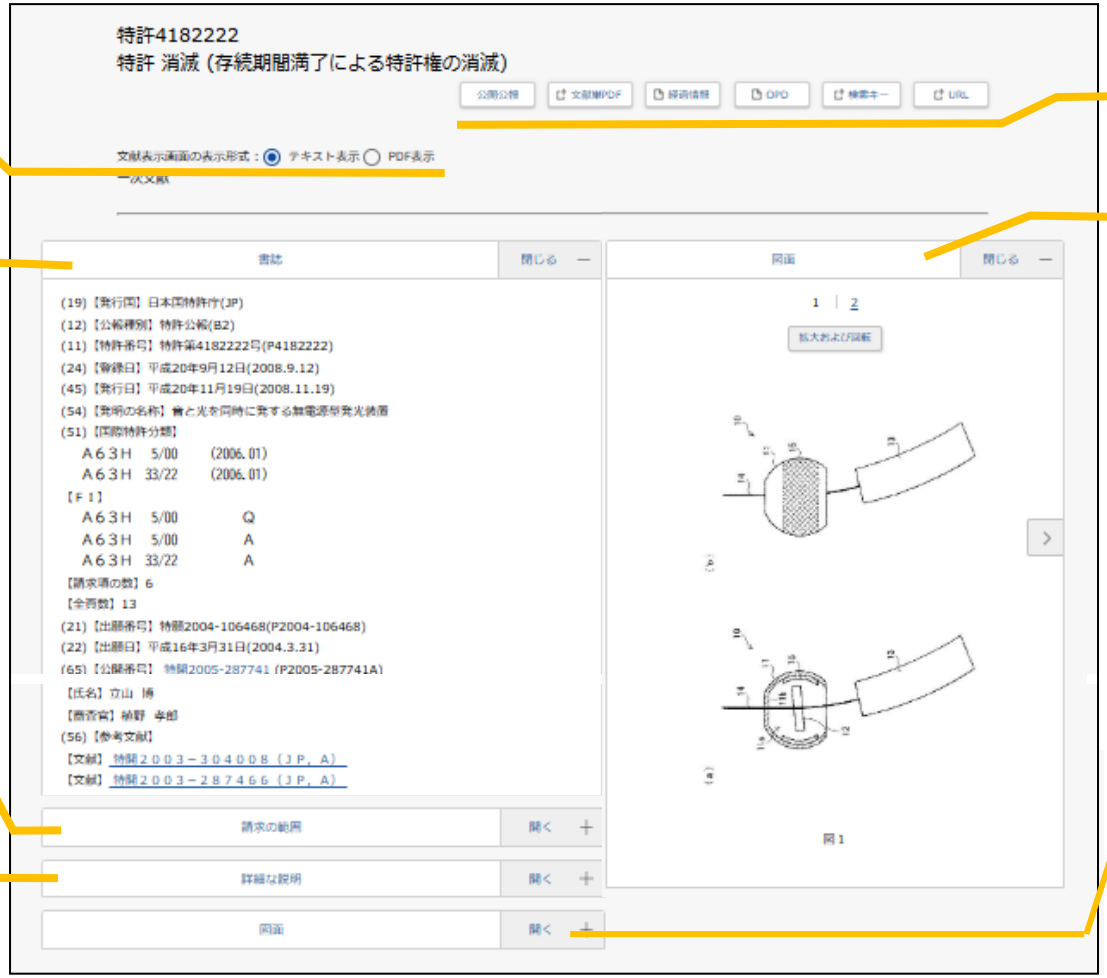
⑥特許・実用新案分類照会(PMGS)

特許・実用新案分類の分類表を照会したり、分類記号又はキーワードで特許・実用新案分類を照会

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(5)J-PlatPatに表示される特許公報情報の構成

例　特許第4182222　登録公報情報　文献表示＿画面　「テキスト表示」



文献表示切替ボタン

書誌

各種メニューボタン

図面

請求の範囲

詳細な説明

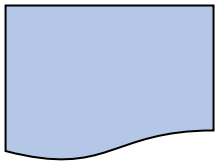
2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(5)J-PlatPatに表示される特許公報情報の構成

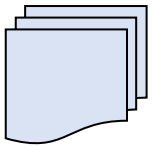
文献表示＿画面 「テキスト表示」

●請求の範囲(クレーム)
この記載により、特許権の「権利行使できる範囲」が決まる。

●明細書
(J-PlatPat上では「詳細な説明」)
請求の範囲に記載された発明をどのように実施するかについて説明(詳細化)した部分。
技術分野や研究の背景、テーマや手段、実験例など細分化された項目を含んでいる。



内容の詳細化



①書誌
出願番号、公開番号、出願人、発明者、発明の名称、特許庁が付与した特許分類(IPC、FI、Fタームなど)を記載

②要約
発明の概要を平易な文章で簡潔に記載
※原則、公開公報のみに記載

③請求の範囲
特許として権利を請求する技術的な範囲を記載したもの

④詳細な説明
発明を実施することができる程度に十分に、発明の内容を記載(「明細書」の一部)

⑤図面
発明の具体的な構成を図示したもの(必要に応じて)

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

明細書から得られる情報

明細書には、具体的にどのような発明をしたのか、当業者が実施できる程度に発明の内容が正確かつ簡明に記載されています。

明細書の項目	内容
発明の名称	➢ 発明の内容を簡単、明瞭に表す。 ➢ 10～20字程度。
技術分野	➢ 対象技術の産業分野、発明を適用できる装置、物品など。
背景技術 先行技術文献	➢ 特許公報や一般文献のうち内容的に近いものを挙げ説明する。
発明が解決しようとする課題	➢ 従来の技術の問題点。
課題を解決するための手段	➢ どんな手段で解決するのか。
発明の効果	➢ 従来技術よりも有利な点を記載。データ等を用いた説明。
発明を実施するための 形態、実施例	➢ 発明をどのように実施するかについて詳しく説明。発明の構成や実施方法、実際に行った実験、試作の例が記載されている。
図面の簡単な説明	➢ 図面ごとに、平面図、断面図と説明。主要な符号の説明。

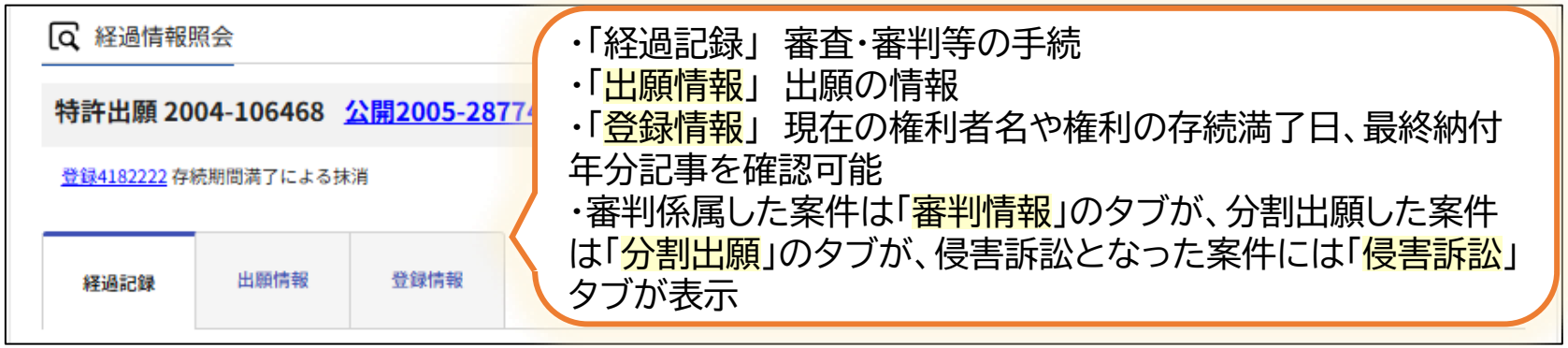
2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

(6)経過情報

昭和39(1964)年以降に出願された案件以降について、経過情報照会の「経過記録」では審査・審判等の手続きを確認することが可能です。
登録公報発行後、「権利者の変更」等があった場合でも、文献表示画面には反映されませんが(公報発行時点の情報から変更なし)、経過情報から確認できます。

●文献表示画面から

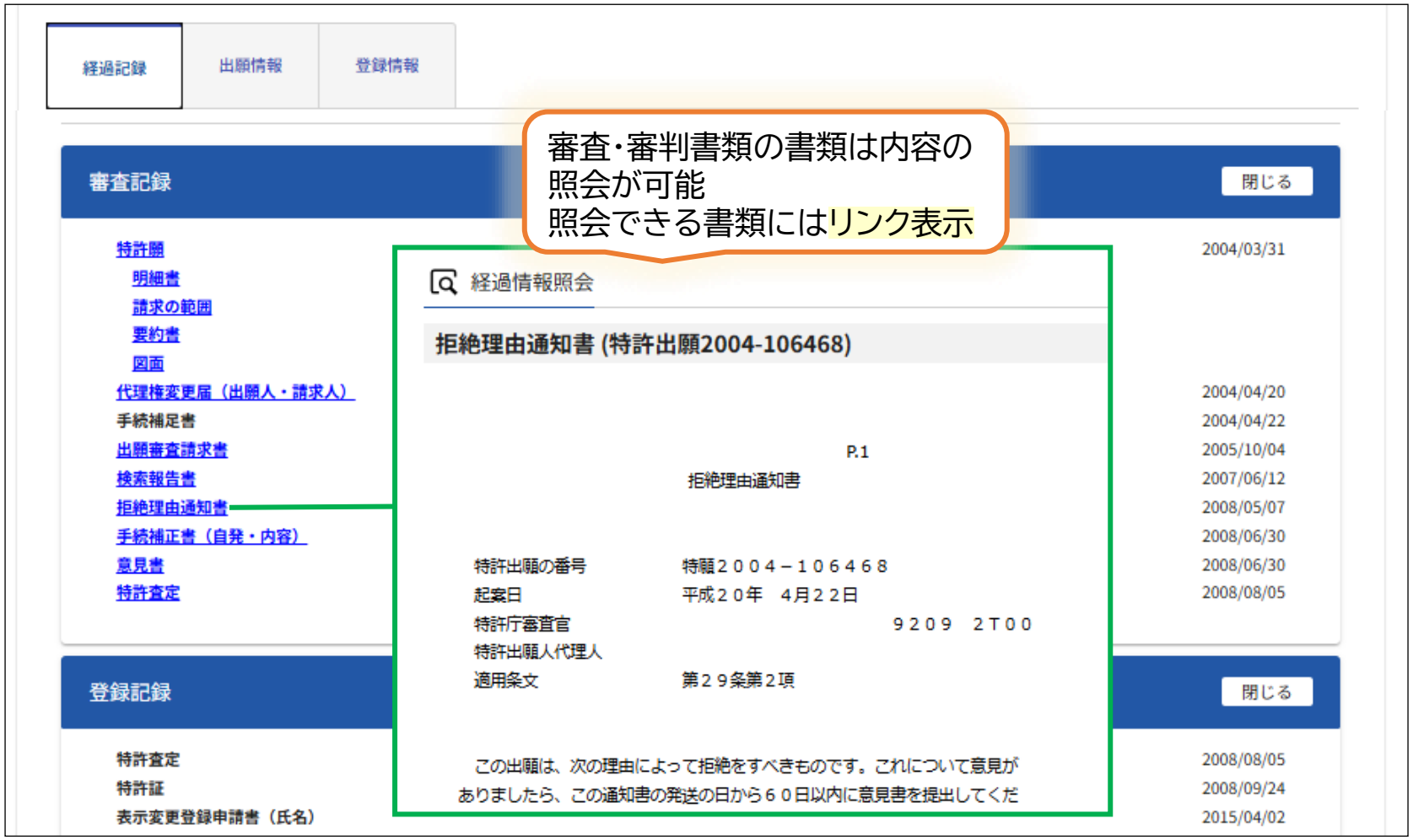
●検索結果一覧から



・「経過記録」 審査・審判等の手続
・「出願情報」 出願の情報
・「登録情報」 現在の権利者名や権利の存続満了日、最終納付年分記事を確認可能
・審判係属した案件は「審判情報」のタブが、分割出願した案件は「分割出願」のタブが、侵害訴訟となった案件には「侵害訴訟」タブが表示

2. J-PlatPatで見られる情報を確認しよう！

例 出願番号が「2004-106468」の経過記録

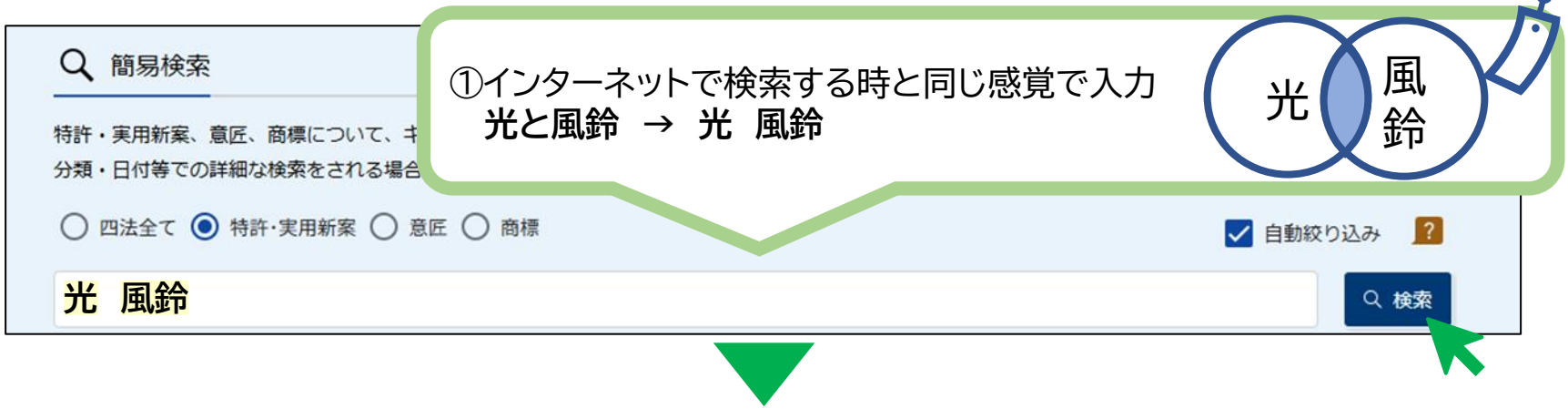


3. 簡易検索を使ってみよう！

(1)簡易検索とは

詳細な条件を指定せず、キーワードや番号で簡単に検索するメニューです。

例 「光を発する風鈴」についての特許を調べる



②文献番号のリンクをクリックすると公報情報が表示

3. 簡易検索を使ってみよう！

(2)簡易検索の特徴(デメリット)

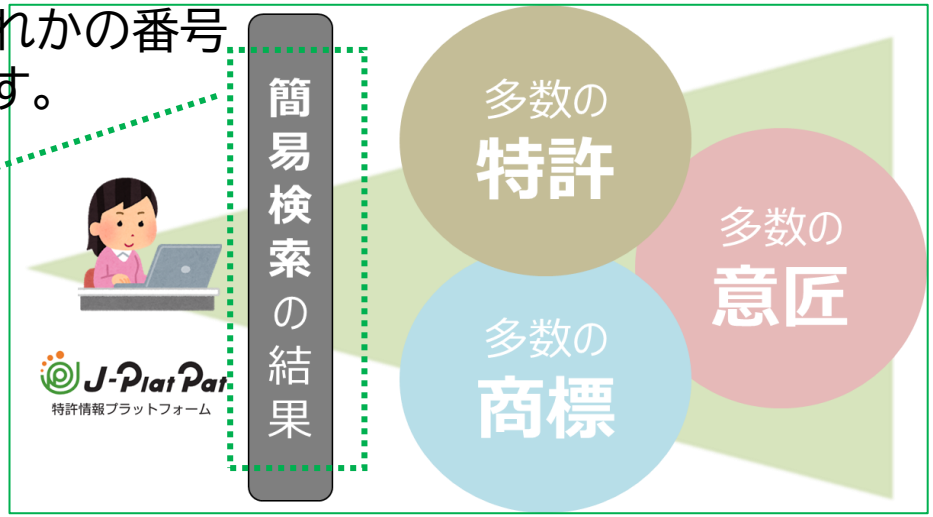
●**検索対象が限られます**(特許なら、発明の名称・出願人氏名・要約／抄録等)

例:「ドローン」と検索した際→検索対象項目に「ドローン」が含まれていないが、検索対象項目”以外”に「ドローン」が含まれている場合は、検索結果として表示されません。

●**細かい検索条件が設定できません**

一般的な検索エンジンと同様の使い方なので、入力したキーワードすべてを含む文献をただ検索します。
文献番号のみの場合はいずれかの番号を含む文献の検索を行います。

すべての文献を探したとは言えない・・・
だから、法域別の
「**詳細検索**」。



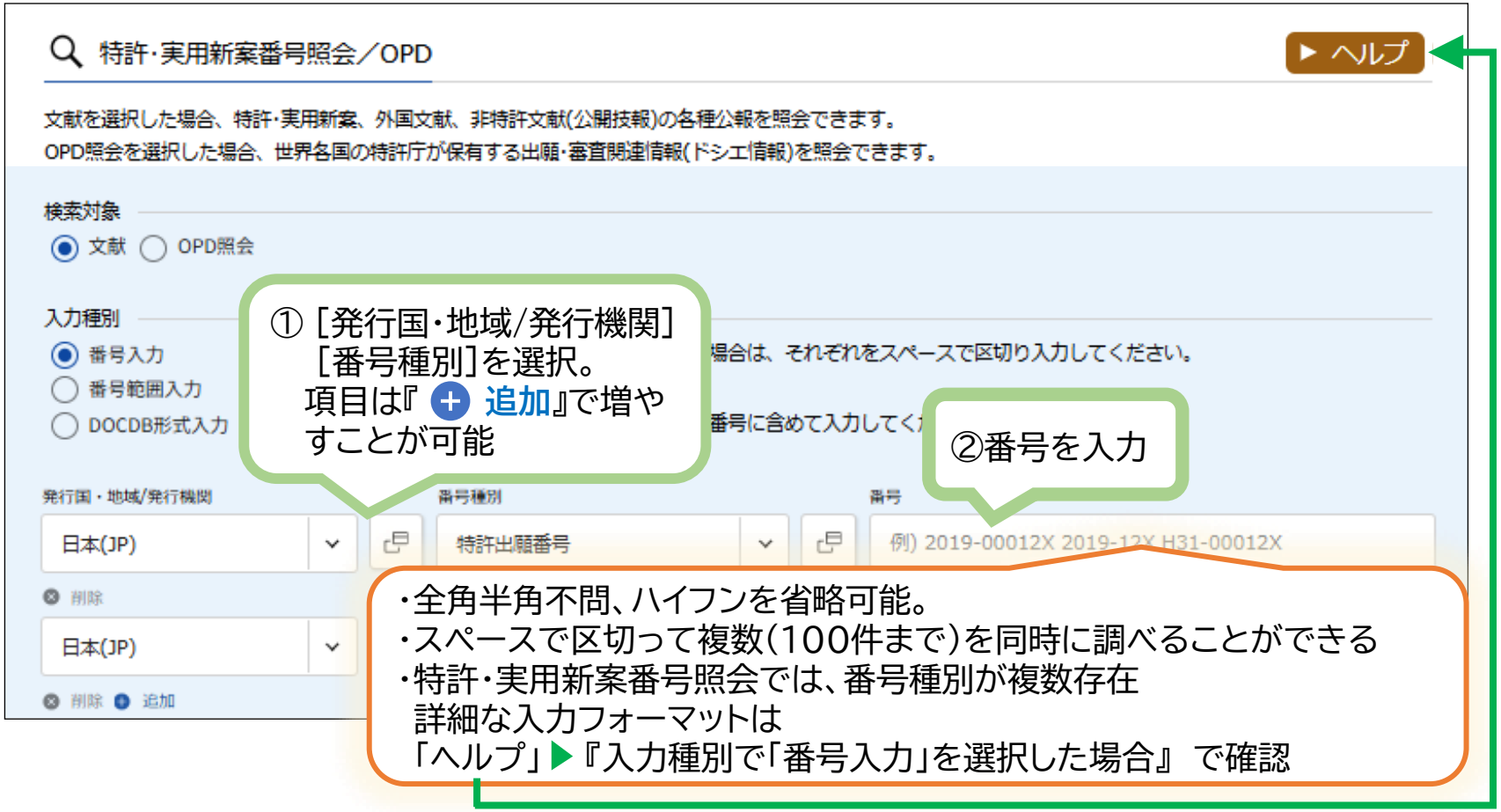
解説動画
あなたの検索、大丈夫？つまずきポイント解決！～簡易検索の落とし穴編～

4. 番号照会を使ってみよう！

(1)照会方法

特許・実用新案番号照会／OPD

目的の特許・実用新案文献を確実に表示させる方法として有効です。



4. 番号照会を使ってみよう！

例 出願番号が「2004-106468」の特許文献を調べる

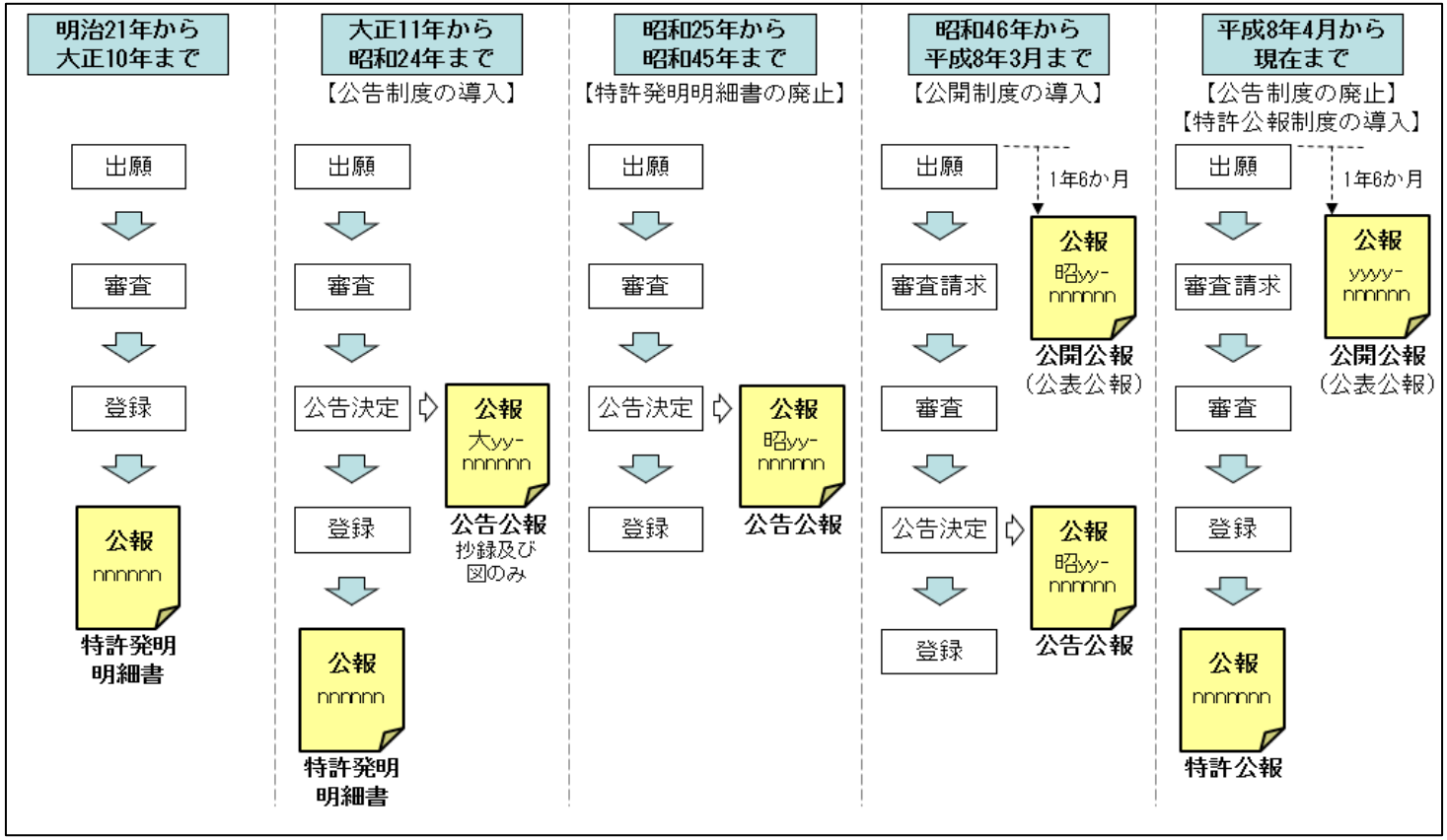
出願番号　特願2004-106468が検索され
公開番号　特開2005-287741
登録番号　特許418222
公報情報へのリンクが表示

No.	出願番号 ▲	公開番号 ▲	公告番号 ▲	登録番号 ▲	審判番号
1	特願2004-106468	特開2005-287741	-	特許4182222	-

4. 番号照会を使ってみよう！

特許は公報種別が多数存在する？

法改正により、平成8年(1996年)から現在の発行体系となっています。
それ以前は、時代によって発行される公報の種類が異なります。
J-PlatPatでは明治以降に発行されたすべての公報を見る事が出来ますが、時代によって公報の名称が異なるため、検索対象を選択するときには注意が必要です。

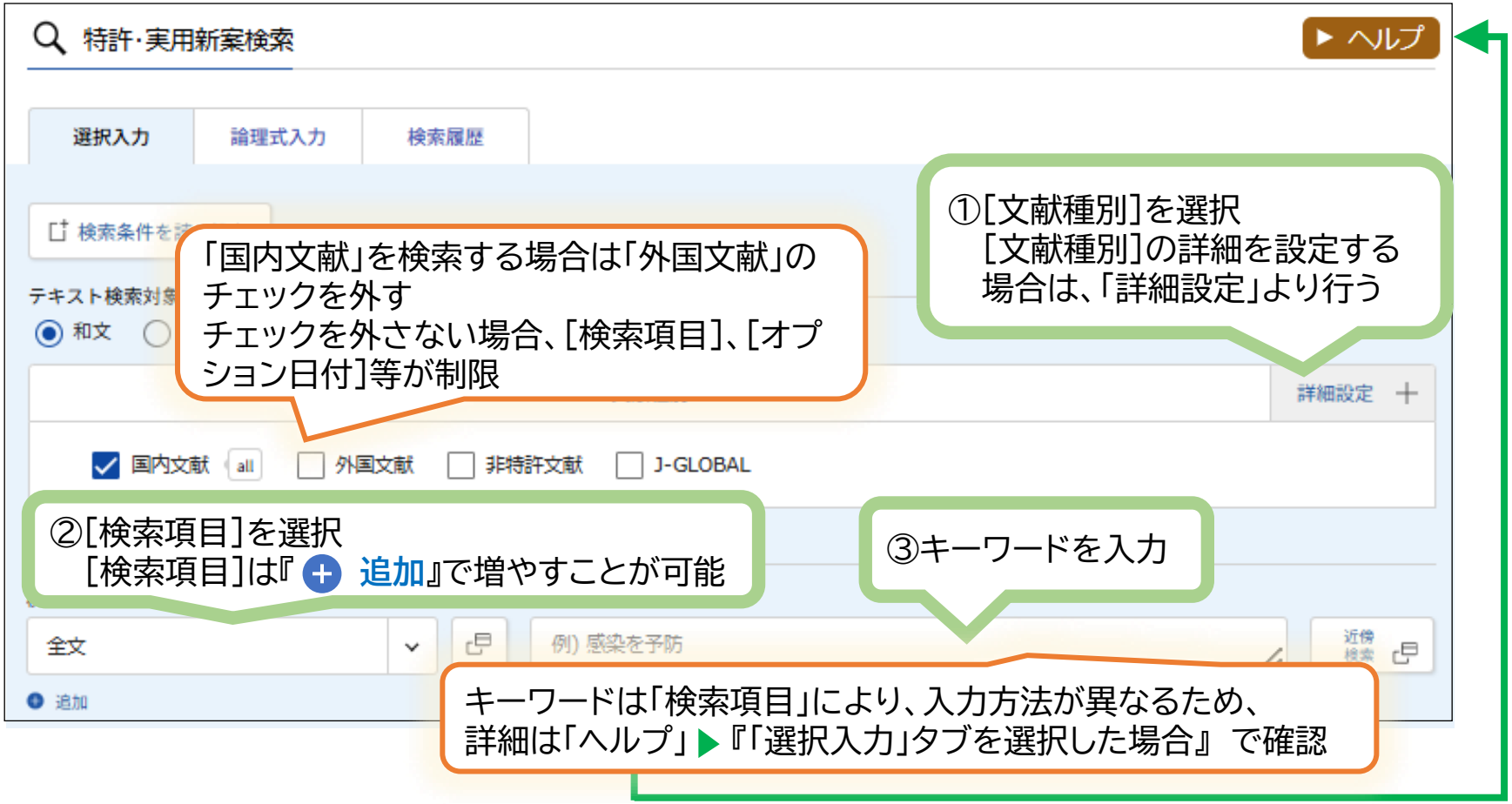


5. キーワード検索を使ってみよう！

(1)検索方法

特許・実用新案検索

キーワードを組み合わせて自分の目的に合った文献を探します。



5. キーワード検索を使ってみよう！

検索項目間の階層関係

全文 で検索

書誌的事項 で検索

発明・考案の名称 で検索

全文

- **書誌的事項**
  - **発明・考案の名称/タイトル**
  - **出願人/権利者/著者所属**
  - **発明者/考案者/著者**
- **要約/抄録**
- **請求の範囲**
- **明細書**

【要約/抄録】
技術分野や発明の概要で調べる

【請求の範囲】
権利の範囲で調べる

【明細書】
技術の仕組みや背景を深く調べる

●検索項目の選択が難しい場合／漏れのない検索を行う場合

⇒「全文」を選択します。最も検索対象が広範で、多数の文献がヒットします。
一方、ノイズが生じる可能性があります。

●ノイズが多いため絞り込む必要がある場合

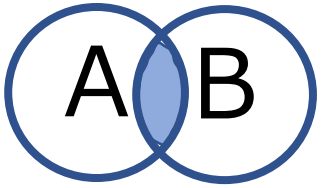
⇒「要約」や「請求の範囲」を選択します。ただし、検索漏れが生じる可能性があります。

5. キーワード検索を使ってみよう！

(2)J-PlatPat検索の基本:AND検索・OR検索

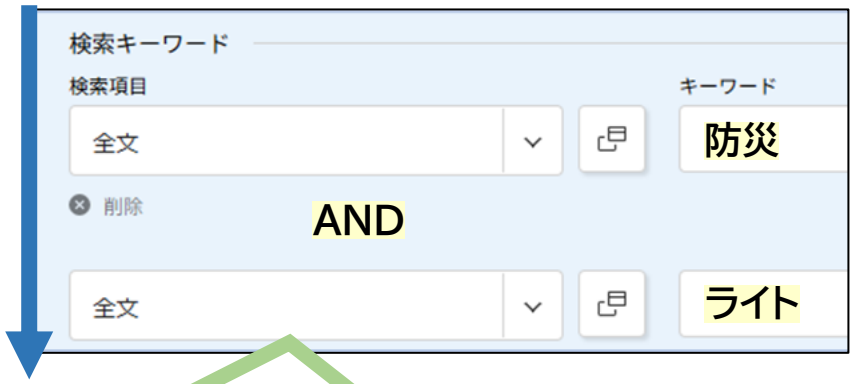
AND検索

- 複数のキーワードの**すべてを含む文献**がヒット
- 検索の絞込に有効



例

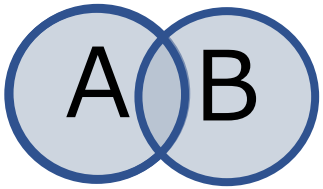
防災　かつ　ライト
自動車　かつ　エンジン



「AND条件」(必ず含めたいもの)は**縦**につなぐ

OR検索

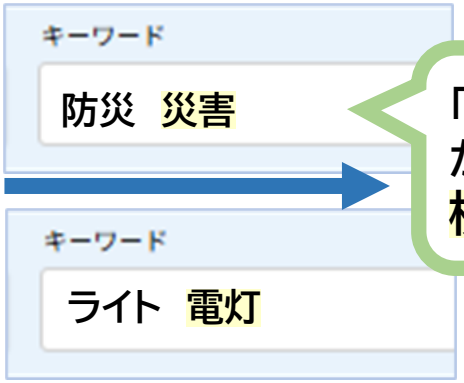
- 複数のキーワードの**いずれか1つ以上を含む文献**がヒット
- 言葉の言い換えに有効(類義語)



例

防災　または　災害
ライト　または　電灯

要素	連想キーワード(例)
防災用	防災　**災害**
ライト	ライト　**電灯**



「OR条件」(いずれか含めたいもの)は**横**につなぐ

解説動画
[あなたの検索、大丈夫？つまずきポイント解決！～OR検索・AND検索編～]

5. キーワード検索を使ってみよう！

同義語や類義語の追加

J-PlatPat の特性：一致検索　※google等は意味を理解して検索（同義語等も考慮して検索）
⇒検索システムの特性を理解して利用することが重要です。

同じ技術を表現する際に、出願人によって異なる単語が使われます。
調査の精度向上には、**さまざまな表現を考慮**してキーワードを選ぶ必要があります。

キーワードの探し方（一例）

①担当技術者の知見から　…自社表現／他社表現
②書籍、学術論文、他社特許公報から
③インターネットのシソーラスから　…例：Weblio,J-GLOBAL,他

●**表記のゆれ**も考慮します

同じものを示す言葉の異なる呼び方	ボタン AI	スイッチ 人工知能
促音・拗音	バイオリン	ヴァイオリン
長音や送り仮名の有無	コンピュータ 組み立て	コンピューター 組立

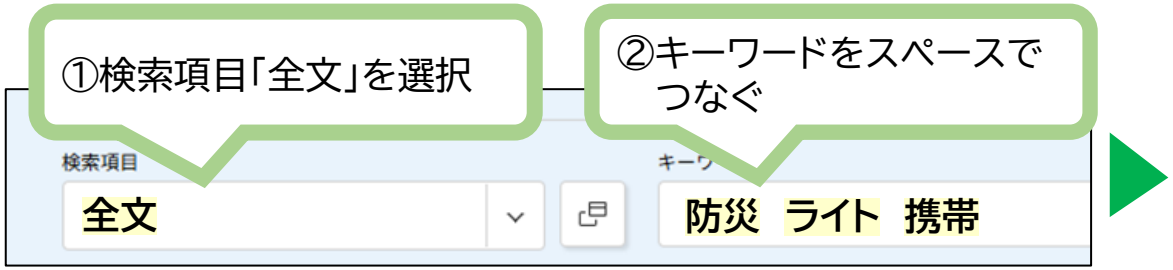
5. キーワード検索を使ってみよう！

例 「防災用のライト」で「携帯可能なもの」に関する国内文献を調べる

検索項目の選択、AND検索、OR検索、入力するキーワードでどのような検索結果となるか確認してみます。

●「防災用のライト」で「携帯可能なもの」を要素単位のキーワードに分解します。
⇒「防災」「ライト」「携帯」

①検索項目「全文」でOR検索する



検索結果
2,868,885件

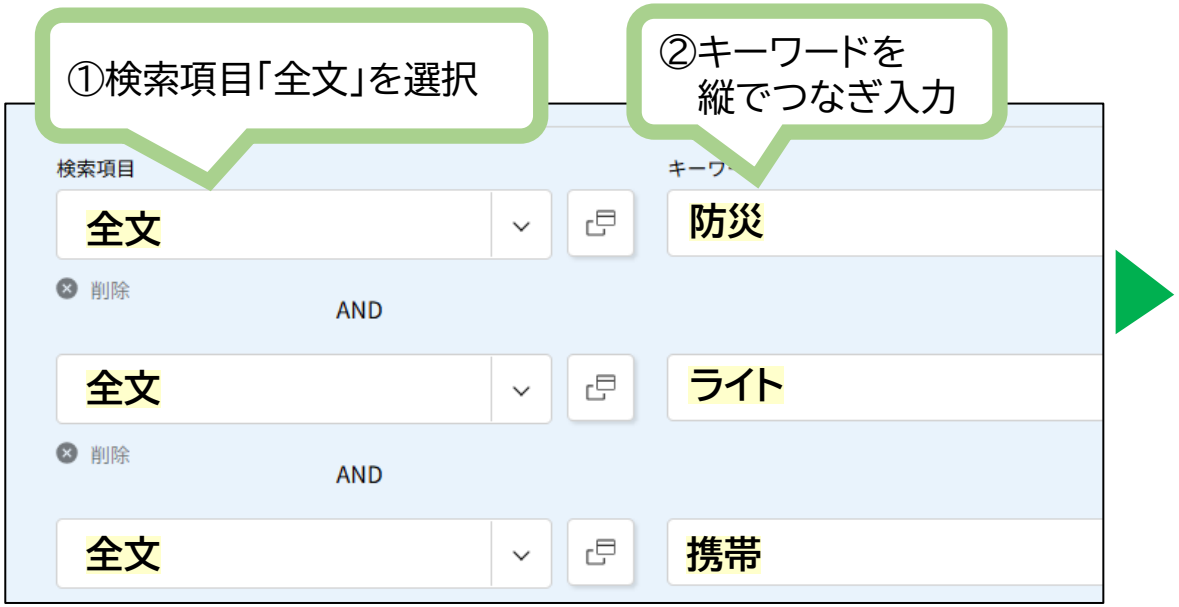
検索結果が膨大！

●内容を確認すると‥

「防災」「ライト」「携帯」のいずれかが文献「全文」のどこかに含まれているという条件になっているため、無関係の文献も多数ヒットしてしまいます。
（例：防災システム、フライト、携帯電話、〇〇防災株式会社等）

5. キーワード検索を使ってみよう！

②検索項目「全文」でAND検索する



検索結果
866件

検索の絞込成功？

検索結果がかなり絞り込まれました。

●内容を確認すると・・

「防災」「ライト」「携帯」の全てが文献「全文」に含まれているという条件になっているため、OR検索結果と同様に技術に無関係の項目にキーワードが含まれる文献も多数ヒットしてしまいます。

5. キーワード検索を使ってみよう！

③検索項目「請求の範囲」でAND検索する

検索結果
17件

特許として権利を請求する技術的な範囲である「請求の範囲」を検索項目としたことにより、さらに文献が絞り込まれました。

●検索漏れがないか確認してみます！

検索に使用したキーワードは検索者が想定したキーワードであり、出願人によって異なるさまざまな表現を考慮していません。
検索漏れをなるべく少なくするためには、キーワードにそれらを追加する必要があります。

5. キーワード検索を使ってみよう！

④類義語、同義語、表記ゆれ等を考慮しキーワードを追加する

要素	追加キーワード（例）
防災	災害　非常
ライト	電灯　電燈
携帯	携行

検索結果
137件

漏れていた文献が追加！

キーワードを追加することにより漏れていたと思われる文献も検索されました。

AND検索・OR検索を理解した上で検索項目やキーワードを工夫することにより、ノイズ文献の除去や検索漏れをより少なくすることができます。

5. キーワード検索を使ってみよう！

(3)近傍検索を活用しよう

例 「人工関節」に関する国内の特許を調べる

人工関節を検索項目：請求の範囲に指定し、次のケースで検索結果の内容を確認してみます。

キーワード入力	検索結果	
人工関節	「人工肩関節」、「人工膝関節」、「人工的な関節」は検索されません。	検索漏れの発生
人工△関節（OR検索）	「人工」または「関節」を含むすべての文献が検索されてしまいます。	ノイズ文献の発生
人工 関節（AND検索）	「人工」と「関節」が他のキーワードに含まれるような密接でない文献も含め検索されてしまいます。	ノイズ文献の発生

「人工肩関節」、「人工膝関節」、「人工的な関節」・・・も含めたい！

「人工知能」、「二次元関節」など「人工関節」に密接ではないものは排除したい！

2つのキーワードが近い距離で出現するよう設定したい場合は近傍検索を利用します。

5. キーワード検索を使ってみよう！

近傍検索とは、キーワード1、2が出現する距離（間隔にある文字数）を設定できる“検索式”で、選択入力においては「キーワード」欄に入力することができます。
近傍検索を利用することで網羅的かつ効率的な検索が可能となります。

キーワード1　●●●・・・●●●　キーワード2

1～99文字で指定

キーワード1の次にキーワード2が指定した文字数内で出現する文献を探す「キーワード順」、キーワードが順序関係なく指定した文字数内で出現する文献を探す「キーワード順不問」の検索ができます。

①キーワード欄に直接入力

キーワードの間の文字数を指定
（半角数字：1～99）

出現する順序を指定
C ＝キーワード順　:人工,3C,関節
N ＝順不問　:人工,3N,関節

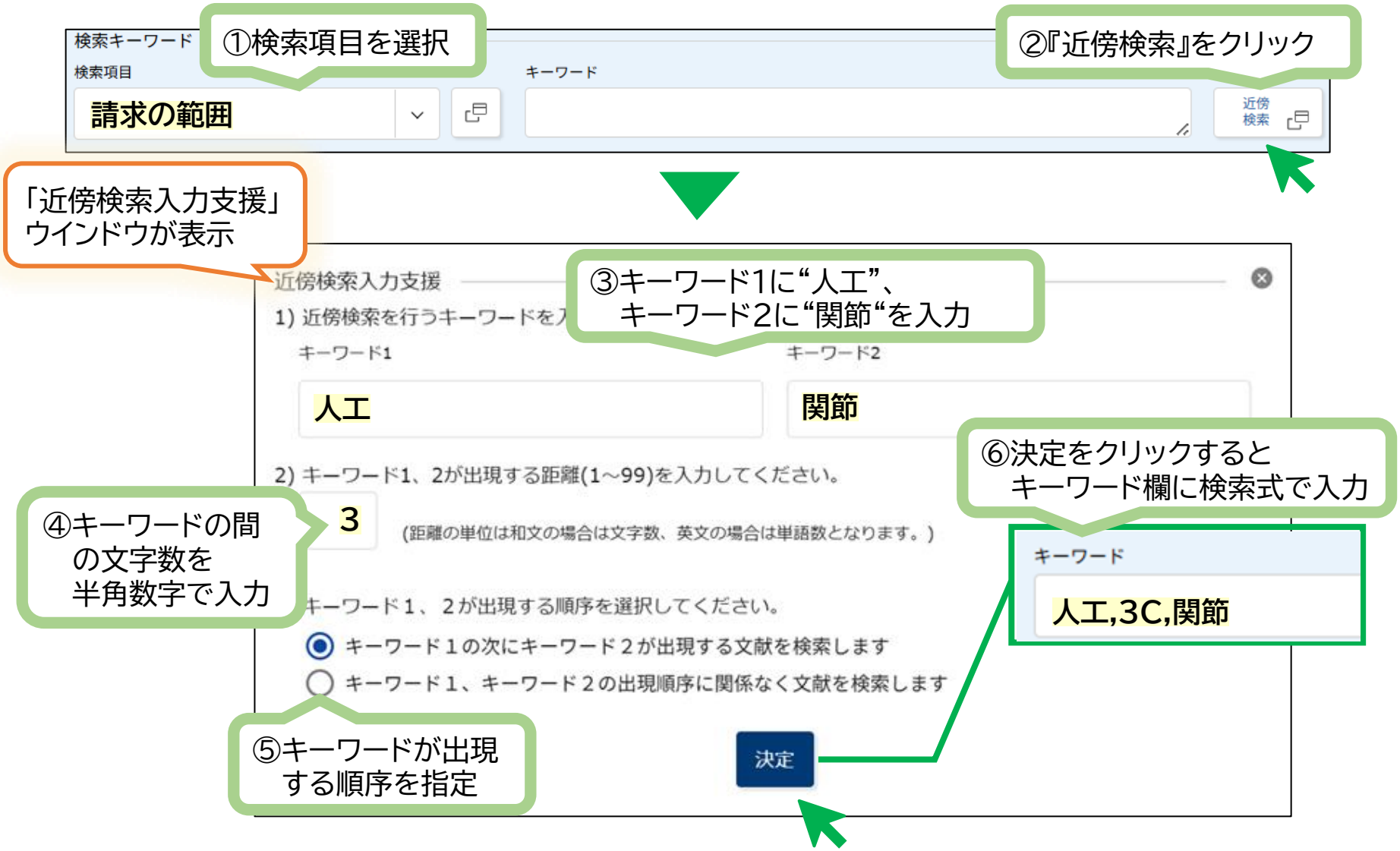
キーワード1 ,■C, キーワード2

半角,（カンマ）で区切る

2つの近傍検索式をOR条件で入力することは不可

5. キーワード検索を使ってみよう！

②「近傍検索入力支援」より入力



5. キーワード検索を使ってみよう！

(4)個人名から検索する

個人名で検索を行うときは
“姓”、“名”間にあるスペース数を設定できる**近傍検索**を利用します。

例 個人が出願人等である特許・実用新案を調べる

検索キーワード

スペースを入力するとOR検索となり、ノイズ文献がヒット

キーワード

○○ □□

×

『出願人・代理人』は、2004年以降発行分では、半角スペースや全角スペースが含まれているためヒットしない

キーワード

○○□□

×

検索キーワード

検索項目

出願人/権利者/著者所属

キーワード

○○,2C,□□

◎

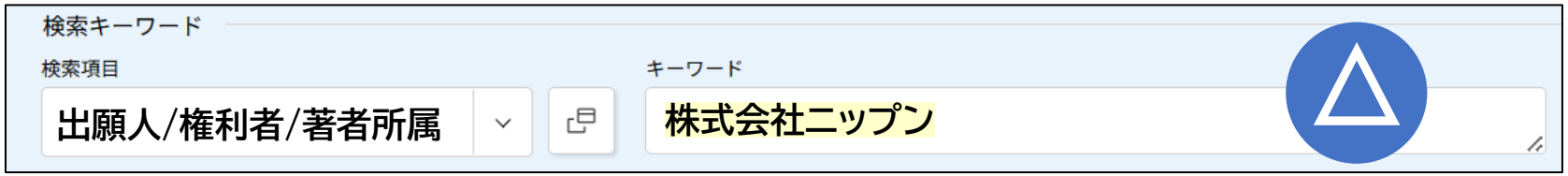
5. キーワード検索を使ってみよう！

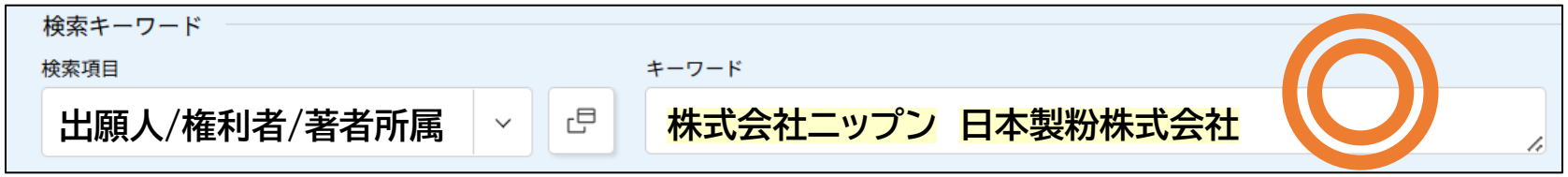
(5)法人名から検索する

法人名で検索を行うときは
合併、社名変更等の有無に注意する必要があります。

例 「株式会社ニップン」が出願人である特許・実用新案を調べる

「株式会社ニップン」は2021年途中までは、「日本製粉株式会社」という社名でした。J-PlatPat特許・実用新案検索で検索できる情報は、公報発行時の情報で自動的に更新されないため、「日本製粉株式会社」と記載されている文献(公報情報)はヒットしません。
このような場合は**OR検索**を利用し、新旧社名を横並びに入力することで、漏れのない検索が可能となります。





5. キーワード検索を使ってみよう！

(6)検索結果を絞り込む

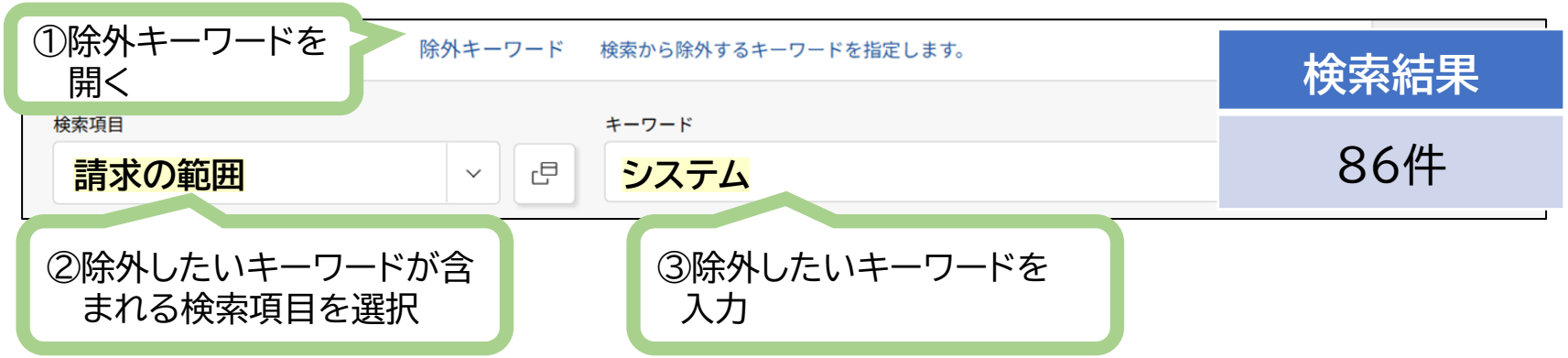
①NOT検索

特定の検索条件を除外して検索する方法です。
NOT検索を行うことで、検索結果を絞り込むことができます。

例 「携帯可能な防災用ライト」で検索した文献をもっと絞り込む

検索結果
137件

検索結果の内容を確認すると、「〇〇システム」が多数、含まれていることがわかりました。この“**システム**” を除外します。



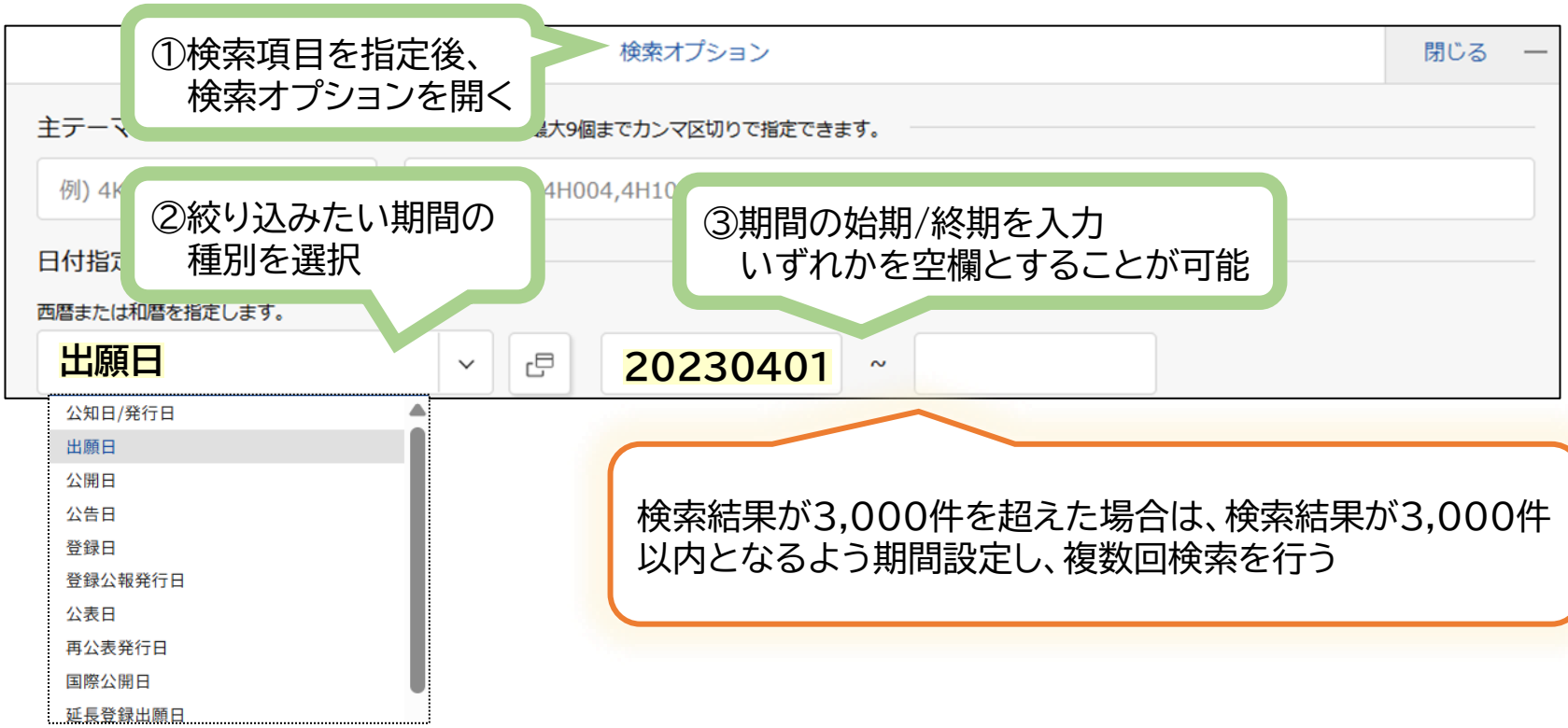
検索結果
86件

5. キーワード検索を使ってみよう！

②日付指定

検索結果が3,000件を超えた場合、日付を指定することで特定の期間内に出願/公知/登録等された文献を絞り込むことができます。

例 出願日が【2023年4月1日以降】の特許に絞り込む



検索結果が3,000件を超えた場合は、検索結果が3,000件以内となるよう期間設定し、複数回検索を行う

5. キーワード検索を使ってみよう！

③ステータス検索/ステージ検索

ステータス検索（生死）/ステージ検索（特許出願又は特許権の主要な手続段階）を用いて更なる絞り込みが可能です。

例 **侵害予防調査として、将来を含め特許権侵害となる可能性がある案件のみ調べる**

5. キーワード検索を使ってみよう！

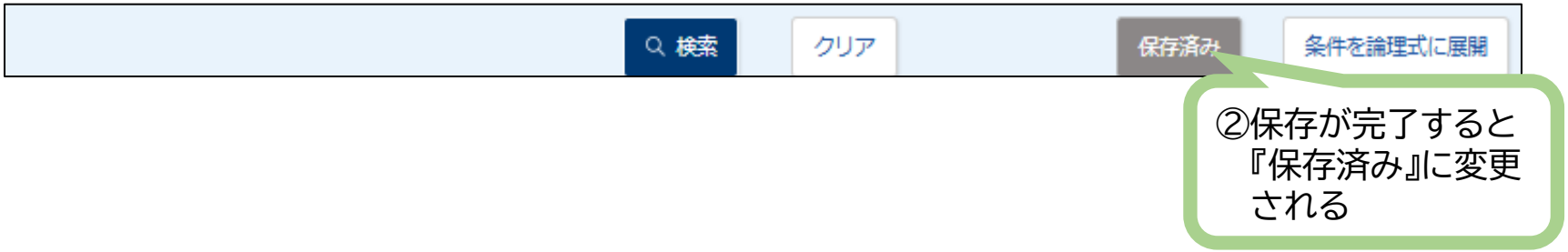
例 自社の未審査請求案件のみを調べる

6. 便利な機能を使ってみよう！

(1)検索条件の保存/読込(意匠、商標でも共通)

同じ検索条件で繰り返し検索を行う場合、検索条件を保存することで条件入力を省略できます。

①検索条件の保存

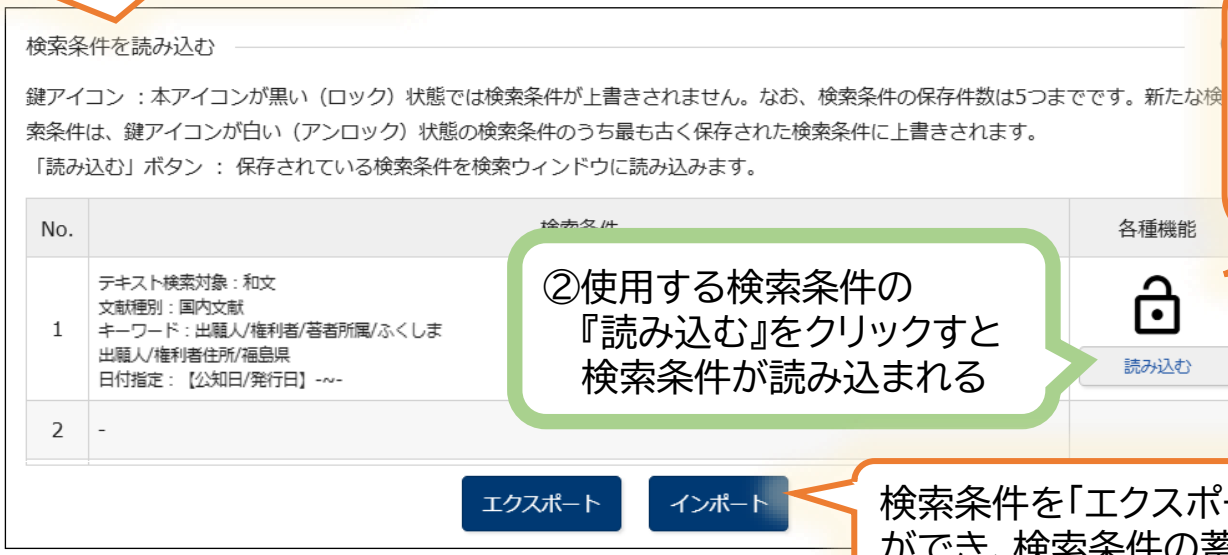


6. 便利な機能を使ってみよう！

②検索条件の読込

①『検索条件を読み込む』をクリック

『検索条件を読み込む』ウインドウが表示



②使用する検索条件の『読み込む』をクリックすと検索条件が読み込まれる

🔓 をクリックすると検索条件がロックされる。ロックされた 🔒 をクリックするとロックが解除される。

検索条件を「エクスポート」「インポート」することができ、検索条件の蓄積、共有等が可能

6. 便利な機能を使ってみよう！

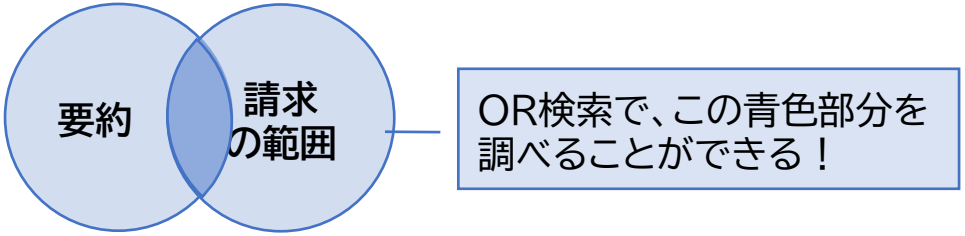
(2)検索履歴番号を用いた検索

一度得られた検索結果の履歴は、検索履歴番号として20件まで保存されます。この検索履歴を母集団とし、他のキーワードや別の検索履歴とかけ合わせたりすることができます。

例えば・・・・

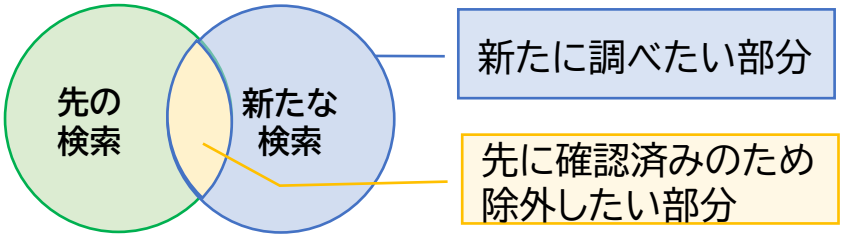
● OR検索

異なる検索項目同士、例えば、要約と請求の範囲、発明者と出願人などでOR検索を行う。



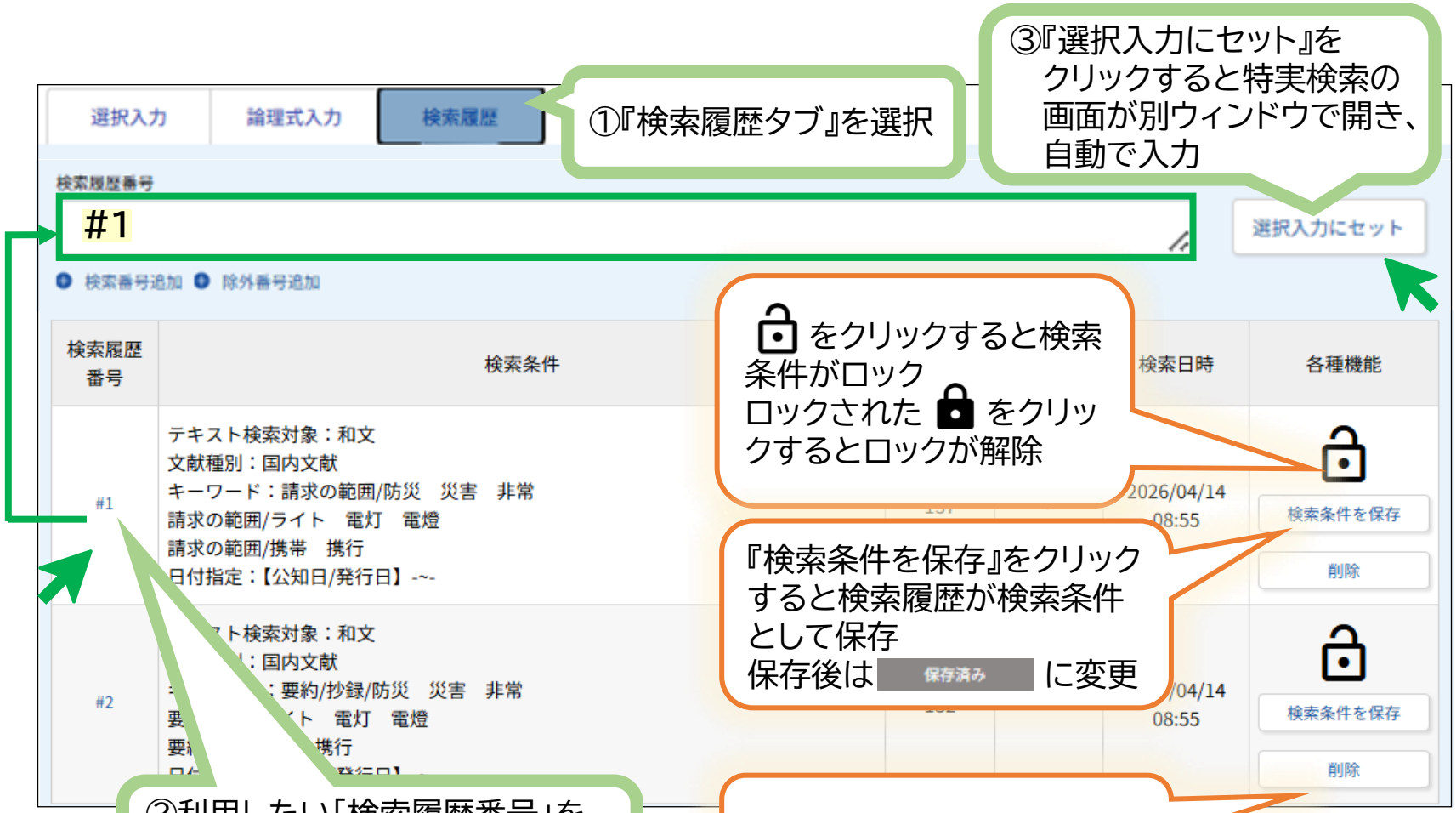
● NOT検索

検索結果の履歴を除外しながら、別の検索を行う。



6. 便利な機能を使ってみよう！

①検索履歴タブからの検索方法

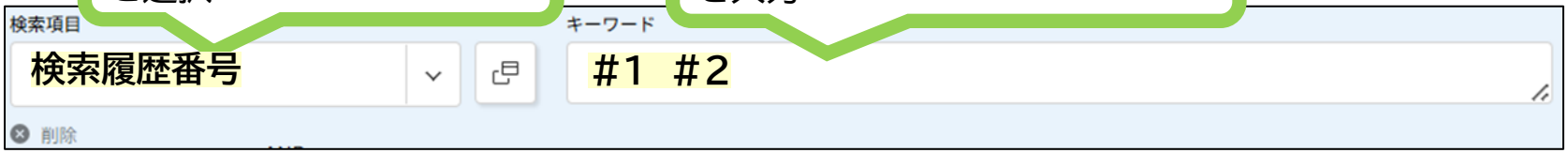


6. 便利な機能を使ってみよう！

②選択入力からの検索方法

①検索項目「検索履歴番号」を選択

②キーワード欄に「検索履歴番号」を入力



検索履歴を用いた検索に関する注意事項

●検索履歴の保存はブラウザのタブ単位で行います。ブラウザのタブを閉じると検索履歴の情報は削除されます。

●別ブラウザで表示した場合や、ブラウザの複数タブで表示した場合は、検索履歴の情報はそれぞれのブラウザのタブ単位で検索履歴の情報を保存します。

●検索履歴が保存されるのは、文献種別が「国内文献」又は「外国文献」の検索のみです。

6. 便利な機能を使ってみよう！

（3）RSS機能（意匠、商標でも共通）

J-PlatPatにアクセスしなくてもウォッチングしたい特許出願等の更新情報の通知を受け取ることができます。これにより情報収集の時間を短縮でき、また、特許庁からの送付書類や出願人等からの提出書類の見落としや確認漏れを防ぐことができる他、気になる案件の動向を知ることができます。

解説動画
【J-PlatPat】経過情報のウォッチングについて（RSS機能）

J-PlatPatの操作で困ったら・・

ヘルプデスク（平日9:00～20:00）

電　話：03-5521-0151
メール：helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp

出願や権利取得に関する
ご相談は・・・
「知財総合支援窓口」へ！
https://chizai-portal.inpit.go.jp/

J-PlatPatの操作を動画で学びたい

●INPITホームページ：J-PlatPat動画一覧

https://www.inpit.go.jp/j-platpat info/reference/video list.html

●INPIT公式YouTubeチャンネル：
再生リスト「J-PlatPat」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLhESKlloeK5XjwrvNb8vW5BoPnABUYIGX

マニュアルを確認しながら操作したい

●INPITホームページ：
パンフレット・マニュアル・講習会テキスト等の提供

https://www.inpit.go.jp/j-platpat info/reference/index.html#anchor7

J-PlatPatをどのように活用してよいかわからない

●INPITホームページ：
J-PlatPat活用事例集「J-PlatPat活用のススメ」

https://www.inpit.go.jp/j-platpat info/usage example/index.html

ご清聴ありがとうございました！